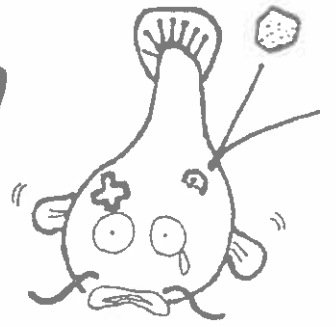


# なまずだより



## 滝野川東地区自治会連合会

事務局

TEL (3910) 0131  
FAX (3949) 5499

### コロナ禍においても防災意識の向上と 地域の安全確保に努めましょう

滝野川東地区自治会連合会会長 加藤 和宣

本年七月の豪雨は、熱海に大規模な土石流を発生させるなど、一部地域に甚大な被害をもたらしました。被災された皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、お亡くなりになられた皆様のご冥福をお祈り申し上げます。

さて、台風6号が沖縄・先島諸島、8号が関東・東北地方に上陸しました。世界各地でも大洪水が起こって甚大な被害が出ております。自然災害は今の科学技術をもってしても止めることは出来ません。しかし、地震や台風に対するふだんの備えや心構えを持つことは出来ます。

### 「自然災害」

飛鳥山自治会 本田 秀三

静岡県熱海市で土石流の被害に遭い、亡くなった方々にお悔みを申し上げます。

ここ数年、日本各地で豪雨災害が発生し、甚大な被害が生じています。けして、地方だけの事では無く皆様が住まわれている東京でも起こり得る事なのです。

皆様が住まわれている近所に地盤が緩い場所、崖が崩れそうな場所など危険を伴う場所は、在りませんか？今一度、確認してみてくださいでしょうか。

それと、重要なのは避難のタイミングです。

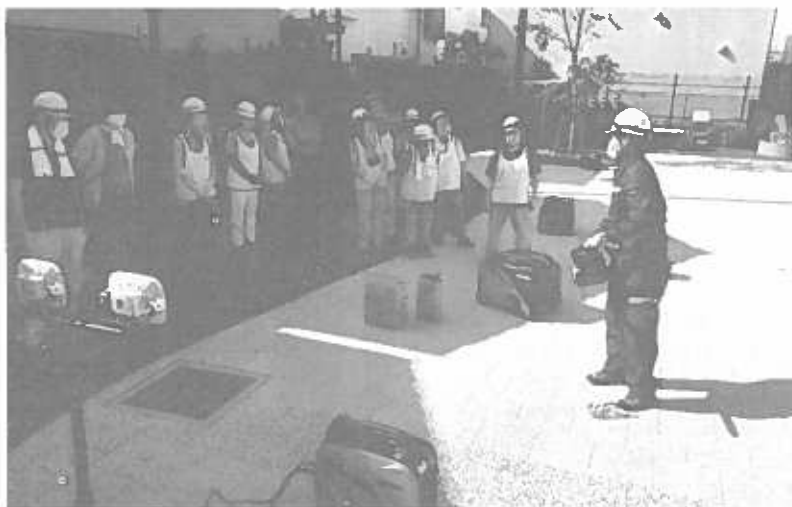
熱海市の場合は、自治体からの避難勧告

地震の場合、非常持ち出し品（両手が自由になるリュックサックに飲料水と缶詰インスタント食品などの食料、衣類や医薬品、マスク、ライター、ビニールシートなどの生活用品を詰めたもの）などの準備が必要でしょう。貴重品（現金、貯金通帳、印鑑、健康保険証）や携帯・充電器などの情報収集用品は、家族の誰もがすぐに持ち出せるようにしておくことも重要です。

新型コロナウイルス感染症が拡大している中、ワクチン接種をしていない若者が街に溢れています。自分は大丈夫、掛かっても重症化しないと思っっているのでしょうか。まずは身の安全、家族の安全、地域の安全確保に努めましょう。

が出ておらず、多くの住民は避難しませんでした。まだ大丈夫だろうと思わずに、早めの避難が必要だと思います。また、避難場所の確認も大切な事です。避難する際になって避難場所が分からず困る事が多々有るからです。分からなければ、今のうちに自治体に確認してみても如何でしょうか。自分の命は自分で守る。いざという時にスムーズに行動が行える様に準備が必要です。

最後に、コロナ禍の中で世界中の人々が不自由な生活を強いられています。一日も早く、皆様に平常な生活が戻りますように。



## 「正しくおそれ、備えよ」

西ヶ原南谷戸自治会 関 久美子

コロナのワクチン接種が進み、少しホッとしています。が、これからの季節、台風・ゲリラ豪雨・大雨による洪水や土砂災害・大地震等、心配の種は尽きません。

なかでも私が今、気にかけている事は「富士山噴火」です。富士山が噴火したら東京にも降灰による大きな影響が出る事はまちがいないでしょう。交通機関の乱れや停電・断水も考えられます。物流が止まれば大変な事になります。

色々な自然災害が起こり得る事を想定して非常時への備えは大切です。たとえば、2、3日分の水・食料、懐中電灯、予備の電池などです。

自然災害は、どこで発生するかわかりませ



ん。富士山噴火に限らず、いつ何があっても対応できるように普段から心の準備もしておきましょう。「正しくおそれ、備えよ!」です。

## 災害時に交わす一言

東大原自治会 木村 一博

二十六年前、私は単身赴任で大阪におりました。地震発生から五日後位に出社できない被災社員宅に皆で手分けをし、食料等を届けに行きました。宝塚市といえは華やかな歌劇団のイメージがありますが、少し離れると、歴史を感じさせる蔵や大屋根の小民家が点在する半農村地帯です。途中それらが何件も倒壊しており、社員の自宅も隣の家の庭まで傾いていました。そこには幅二メートル程の用水路があり、地震の影響なのか水位が下がっていたのですが、水底になんと三十センチ程もある「大なます」がビチャビチャ跳ねていたのです。同じ様に立止まって見ていた近所の女性が「地震となますつて絶対関係ありますよね!」と親しげに話しかけてきました。私もこの殺伐とした被災風景の中で、世間話をしただけで何かほっとした気持ちになった事を今でも鮮明に覚えています。災害時に交わす一言、大切です。

## 震災に備えていますか

西ヶ原上町自治会 諸星 純司

我が国は、自然豊かである反面、世界の面積の0.28%しかないにもかかわらず20%の火

山が集中しており、地震の頻発国という自然の驚異を感じる機会の多い国である。

そんな中で皆さんは防災時の備えはしていますか?

昨年11月にある機関が行ったアンケートによれば、4割の家庭で自然災害に対する備えをしていないようだ。また、別の調査でも3日分の備蓄が必要なに対し、十分確保できていない家庭が8割に上ることである。

一般的に1日に必要な水の量は1人当たり3ℓ。これを3日分備える必要があると言われている。準備していますか?また、防災時の季節によっても必要なものは異なります。消費期限があるものの入れ替えも必要でしょう。

コロナ禍では、今までは違うグッズも必要になるかもしれません。季節ごとに必要なものを書き出し、防災に備えてみてはいかがでしょうか。

## 温暖化と豪雨

西大原自治会 佐々木 三久

近年、梅雨期の土砂・浸水被害が毎年のように起きています。多くの企業が大量の二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を排出していることから、地球温暖化が進んで気温や海面水温が上昇し、空気中の水蒸気の量が増加して積乱雲が発生しやすくなっています。

梅雨期は前線が上空に停滞していることが多く、そこへ湿った空気が入り降水帯が出来ると、狭い範囲で大雨が降り被害をもたらします。

台風被害も温暖化と同様で、気候変動に関するデータによれば、日本の南の海上で水蒸気の量が増すと台風の発生が増える様です。

17年7月九州北部・福岡・大分の豪雨死者・行方不明41人。18年の7月西日本・広島・岡山豪雨死者・行方不明245人。19年10月台風19号、千葉県死者・行方不明107人と長野県千曲川氾濫・浸水。20年7月熊本県の豪雨死者・行方不明86人。(内閣府資料)

地域の社会基盤を点検し、日頃から安全を確保して下さい。

## 「世の中の変動」

馬場自治会 日沼 國雄

この度、熱海市に「土石流災害」が発生し、大変な被害に遭われました方々にお見舞い申し上げます。

又、お亡くなりになった方々のご冥福をお祈





り申し上げます。

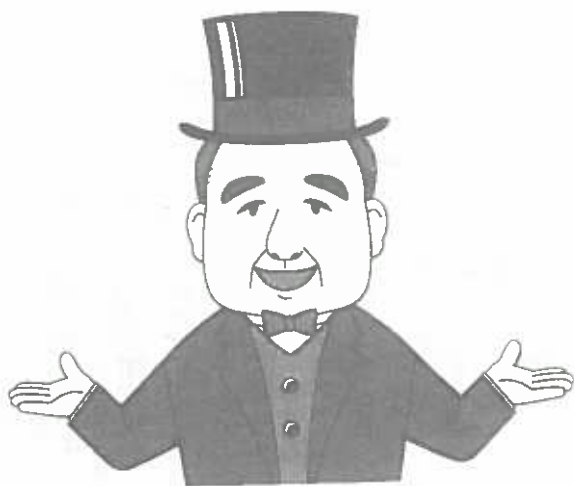
さて、昨年から続いている「新型コロナウイルス」は日を追うごとに感染が拡大し、我々の日常生活を一変させました。

全国でコロナワクチン接種が行われておりますが、接種率が低いです。重症化を防ぐために、まず「三密」を避ける。そして、手洗い、うがい、マスクの着用を励行し、皆で協力しましょう。

また、自治会では、二年間、防災訓練が出来ませんでした。

ただし、防災部では年間4回の防災設備用具、DIYポンプ、発電機等の点検を実施しております。いつでも対応出来るようにしております。

最後に自治会の皆さん、高齢化が進んでおります。お年寄りには気を使って下さい。



## コロナ禍における情報の大切さ

西ヶ原二本榎自治会 仲村 昇

日本列島に新型コロナウイルスが発生してから一年半が過ぎ、未だ感染拡大が続き、七月十二日現在の感染者は八十二万人を超え、今なお増え続けている。武漢ウイルスからイギリス型、更に今はインド型のデルタ株など、これまで以上に強力な感染力を有しているウイルスも出現し心配だ。或るノーベル受賞者がこのウイルスを忍者ウイルスと例えていたが、変幻自在で中々収束が難しいのが特徴だ。しかしワクチンの登場で多くの人に接種が進み、殊に高齢者の感染、重症化が減少して一先ずホッとしている。一方では四十代、五十代の年齢層が感染拡大しておりワクチンの早期接種が待たれる。当自治会は昨年从今年にかけて行事の中止が相次ぎ残念ながら活動が止まったままで、夏休みの行事、秋の祭礼、防災訓練等も取り止めに なった。また、コロナ禍での町会活動も殆ど三密となるため難しく、やはりコロナの終息無くして再開は困難と言える。防災対策は主にこれまで天災、人災に依る災害が中心だったが今後は防疫の観点からも見直しが必要になり、特に町会内のコミュニケーションは重要で、そのツールとして回覧、掲示板等の活用がこれ迄以上に大切になり情報提供を迅速に行う事が肝要となる。行政と自治会の連携を密にして、この難局を乗り越える事こそ不可欠である。

## 「コロナ以後、災害発生時への備え」

西ヶ原西部自治会 千葉 寛信

週に1、2回を除いて、ほぼ全て在宅勤務。これが私の会社での勤務状況です。もし地震や大雨などの災害が起これば、北区で被災するだろうと思う今日この頃です。あらためて地域に即した防災知識の共有、危険箇所や避難先の確認、防災訓練等の必要性が増しているのではないかと考えています。例えば、西ヶ原地区では密集対策事業が進んでおり、避難先や防災情報が更新されています。また、地域の高齢化により要配慮者も増えています。こうした地域に即した情報を基に定期的に防災計画を立てていくべきではないでしょうか。

しかし、コロナ禍において非接触が求められる中、こうした地域内コミュニケーションをどう行っていくべきかまだ分かりません。

自治会で行っている見回りやご近所さんへの日々の挨拶を起点に、少しずつコミュニケーションを取ろうかなと最近思っています。

## 地域の繋がりを維持する

### 新しい道具の活用

西ヶ原西合戸自治会 嘉山 暁子

初めての緊急事態宣言が発令されてから今日まで、三密と不要不急の外出を避け続けてきた結果、人と対面する機会が激減し、地域活動はほぼ停止状態となりました。仕事も在宅でのリモートワークとなり、子供たちにはタブレット等が配られ学校の授業も遠隔化され、

短期間でインターネットを通じて交流するところが一般化しました。

西谷戸自治会の会議は、昨年早い時期からZoom(ビデオ通話)に切り替わりました。外出を自粛している間に人との繋がりが希薄になることを危惧してのことです。Zoomの活用で働き盛りの世帯が場所にとられず会議に参加できる嬉しい側面もありました。コロナをきっかけに新しい可能性を手にしたように思います。

直接会って交流することの大切さを実感するからこそ、新しい道具を積極的に取り入れ、いざというときのために人と人との繋がりを大切に維持していきたいと考えます。



# 「防災の日」に思う

西ヶ原三和自治会 伊藤 秀夫

98年前14万人の尊い命を奪った関東大震災（大正12年9月1日）は、11時58分にM7.9、3分後と5分後に其々震源地を異にするM7.2以上の「三つ子地震」であった事が最近、究明されています。

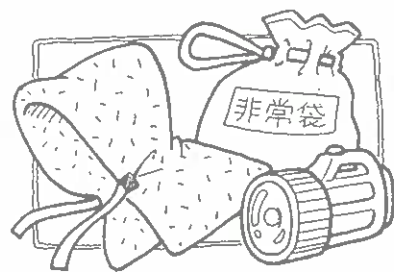
当時23歳だった父が親類を気遣って本所深川に向かった時の話では、地震直後に発生した火災を逃れて本所横網町にあった被服廠跡地に4万人が家財道具を持って避難している最中に火の玉（火災旋風）が襲い3万8千人が焼死し、隅田川には火災の熱さから逃れて水死した人々の光景は、地獄絵を見ているようであった。また、その後起きた人種差別等のデマにより迫害や殺りくが繰り返された時の無常さ、人間の持つ恐ろしい性などを高校のころから聞かされ、人間を大切に思い自分自身を見つめる日として、この日を迎えています。



## 令和3年度

### ◆滝野川東地区防災訓練計画及び会場一覧

自治会名	訓練場所	日時
馬場		(中止)
西大原		
飛鳥山	未定	未定
東大原		
西ヶ原上町		
西ヶ原西部	西ヶ原みんなの公園 (3地区合同訓練)	令和3年10月31日(日) ※予定
西ヶ原西谷戸		
西ヶ原南谷戸		
西ヶ原三和	谷戸さんさん児童遊園	令和3年9月5日(日) 午前7時30分~10時
西ヶ原二本榎		(中止)



### ◆滝野川東地区避難場所及び避難所

避難場所(該当町丁目)	運営自治会名	指定避難所
都営滝野川三丁目団地 一帯 (滝野川1・2丁目の一部、3丁目ほか)	馬場	北区役所 滝野川分庁舎
	西大原	
飛鳥山公園 (滝野川1・2丁目の一部) (西ヶ原2・3丁目の一部)	飛鳥山	滝野川第三小学校
	東大原	
	上町	
北区防災センター 一帯 (西ヶ原2・3丁目の一部ほか)	二本榎	飛鳥中学校
	三和	
染井墓地、駒込中学校 一帯 (西ヶ原4丁目)	西部	西ヶ原小学校
	西谷戸	
	南谷戸	